



# Halloween 2016 ディスプレイコンテスト

## 結果発表

実施期間 2016年9月12日(月)~10月31日(月)

日頃よりサントリー商品に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
この度は、「Halloween 2016 ディスプレイコンテスト」に多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。  
厳正なる審査の結果、各賞が決定いたしましたので、ここに発表いたします。  
今後とも、弊社商品のご拡売を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

サントリー酒類株式会社

対象商品

ザ・プレミアム・モルツ各種、ザ・モルツ、ホップタイム各種、オールフリー各種、ほろよい各種、ジムビーム各種、トリス(クラシック)、フレッシュネコルドネグロ、カルロロッシカリフォルニアダーク



## 統合コース

グランプリ 20万円 (1店舗様)



キューピット 南紫竹店様  
(新潟県)

商品のボリューム感と手づくりPOPを生かした演出によって、ハロウィンパーティーの楽しさが伝わってくる売場です。バナーを活用してウェルカムゲートのように高さのあるポイントをつくることで、視認効果もアップ。ハロウィンのワクワク感を連動させることで、興味喚起と購買促進が両立しています。

準グランプリ 各15万円 (2店舗様)



ボリュームのある商品陳列と中央に設置された大型のかぼちゃのお化けがインパクトのある売場づくりのポイントです。

酒のスーパータカギ 伊那店様  
(長野県)



商品ごとにわかりやすい陳列がされています。さらに、それぞれ違う陳列技法を採用し、インパクトを生み出しています。

キッチンランド Sunsun 様  
(東京都)

## 総合コース 優秀賞 各5万円 (10店舗様)



スーパーアークス 菊水店様  
(北海道)



ビックハウス旭町店様  
(北海道)



長野県 A・コープ しんまち店様  
(長野県)



長野県 A・コープ  
ハビア白馬店様(長野県)



酒のスーパータカギ  
佐久インター店様(長野県)



シミヤ  
(富山県)  
砺波店様



立山酒店  
(富山県)  
中央店様



立山酒店 入善店様  
(富山県)



酒の備後屋 甲山店様  
(広島県)



リトルカリバー業務用食品  
スーパータクト店様  
(徳島県)

## ビールコース 優秀賞 各7万円 (10店舗様)



マイヤ 気仙沼バイパス店様  
(宮城県)



マイヤ 仙北店様  
(岩手県)



ムナカタ 中谷地店様  
(福島県)



酒のトップ  
(東京都)  
竹の家店様



キュービット 南紫竹店様  
(新潟県)

●その他5店舗様

## スピリッツコース 優秀賞 各7万円 (10店舗様)



マイヤ 釜石店様  
(岩手県)



酒のメガメン  
(長野県)  
本店様



酒の備後屋  
(広島県)  
甲山店様

●その他7店舗様

(掲載順: 順不同)

## 審査風景&審査員



### サントリー酒類株式会社

※後列左2番目から

ビール営業部課長 石井 勝  
営業推進本部部長 中村 直人  
ワイン営業部部長 土井 康暢  
スピリッツ営業部部長 長瀬 雅信

※前列左から

営業推進本部課長 松本 雅行  
スピリッツ営業部課長 松谷 隆吉  
ワイン営業部課長 北原 誉之

### 株式会社ダイヤモンド・リテイルメディア

※後列左

取締役 平井 俊之

審査の  
ポイント

オリジナリティ

お客様の店頭訴求力

店頭ボリューム



ストップ! 未成年飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。  
お酒はなによりも適量です。のんだあとにはリサイクル。

## サントリー

## 大人のハロウィンとして訴求!

昨年の秋に開催されたサントリー「Halloween 2016 ディスプレイコンテスト」の総合コースにおいて、グランプリを受賞したのは(株)キュービット(新潟県新潟市、堀川裕司代表取締役社長)の南紫竹店である。同店の木村智昭店長は「なんといってもグランプリですから、とても光栄です」と語ってくれた。

イベント企画として、各売場でハロウィンテーマに本格的に取り組んだのは今回が初めてのこと。そのなかで、ポイントのひとつになったのが今回の売場である。木村店長は「大人のハロウィンを意識した」ということで、ビールからワイン、ウイスキー、バーボンと多彩なラインアップ

での商品陳列を行った。さらに、バナーを生かしてウエルカムゲートのように高さのある空間をつくり出したり、楽しさを演出するオリジナルPOPにより、視認効果アップや興味喚起、購買促進が図られている。「写真ではわかりにくいですが、動く魔女人形をディスプレイしています」と木村店長。人が近づくとセンサーが反応し、動きながらケタケタ笑う人形は、遊び心であり、楽しい売場のエッセンスでもある。

キュービットのスローガンは「おいしい・たのしい・やさしいお店」であり、それをイベントや売場づくりに常に反映することを考えている。ハロウィンイベント当日は、木村店長自ら魔女に仮装をして、店内を盛り上げることで楽しい店づくりを実践していた。

Halloween 2016  
ディスプレイコンテスト  
総合コース グランプリ

# キュービット 南紫竹店

(新潟県新潟市)



ハロウィンパーティーの楽しさを来店者に伝えることを考えた構成・演出によってつくられた売場である



同社店舗においては、シニア層よりもファミリー層の若い世代の顧客比率が高いキュービット 南紫竹店



キュービット 南紫竹店の木村智昭店長

## 企業として取り組む売場づくり

(株)キュービットは、新潟市内を中心に14店舗を展開する地域密着型のスーパーマーケット。商圈内の消費者ニーズを取り込みながら、さらに、地域内ではキュービットでしか買えない商品を取り揃えることで、「お客さまに喜ばれる店づくりを行っています」と木村店長。それが「キュービットオリジナル」商品であり、「キュービットセレクション」として行った「コストコフェア」や「成城石井フェア」である。「地場のおいしさを大切にしながら、新潟では手に入りにくいコストコや成城石井の商品を品揃えすることで、よりいっそう買物を楽しんでもらえることから、お客さまに喜ばれています」と木村店長。

同社は、売場づくりにも積極的に取り組んでおり、「POP作成」の社内研修を実施している。研修終了者が実際に作成し、店舗に掲出された優秀なPOPは表彰される。さらに、ディスプレイコンテストも自社内企画としても実施。審査は社長が行い、同様に、優秀な売場は表彰される。これらは、「売場を通じて、いかにお客さまに訴求するかを、従業員一人ひとりが考える機会と場を与え、浸透させることが目的です」と木村店長。

今回は、「ハロウィンというテーマで、パーティー向きの酒類でのコンテストを実施していただいたサントリーさんにも感謝です」と木村店長。今回のコンテストを通して、店づくりには社長や本部のバイヤーと、メーカー、そして店舗スタッフのすべてが一丸となって取り組むことで、大きな成果になると再確認できたという。今後も、機会があれば、積極的にコンテストに参加をしていきたいとのことである。

**店長自ら魔女の仮装をして取り組んだイベントは、楽しい売場と大好評だった!**